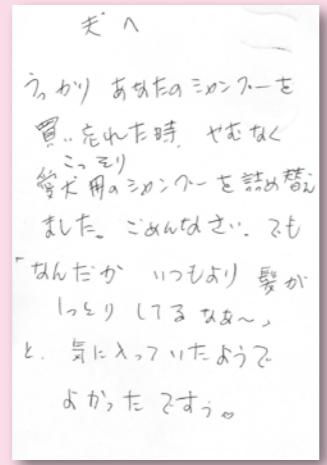
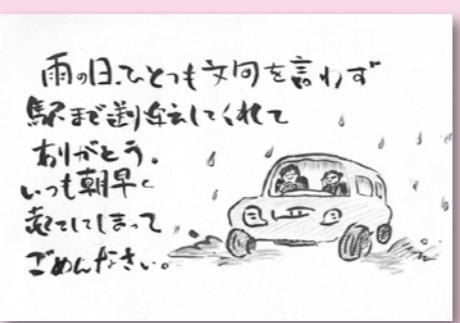
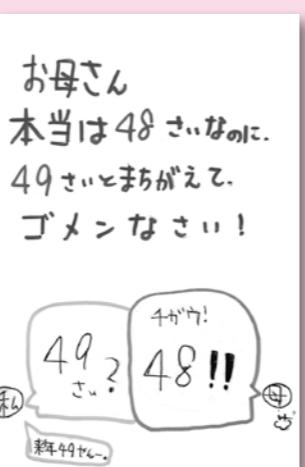


ハガキでごめんなさい

全国コンクール入賞作品紹介

JRごめん駅長賞
小沢 竹朗（愛知県）ごめん町賞
吉松 慎子（高知市）フタガミ賞
岩田 幸作（福岡県）南国市金融団賞
なおぷー（愛媛県）南国市商工会長賞
小田 高博（三重県）TSUTAYA賞
小島 江里奈（高知市）南国郵便局長賞
四宮 柚（いの町）サニーマート賞
増田 木綿子（三重県）ナンコクスーパー賞
岡田 美依菜（高知市）

総評

実行委員会

他の入賞作品もいざれ劣らぬ力作ばかりで、くすと笑いを誘う作品や、心温まる作品など、作者の心から「ごめんなさい」が詰まつたものばかりでした。

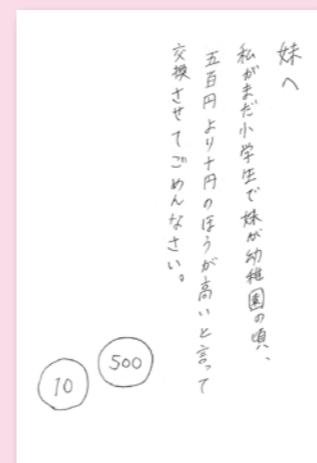
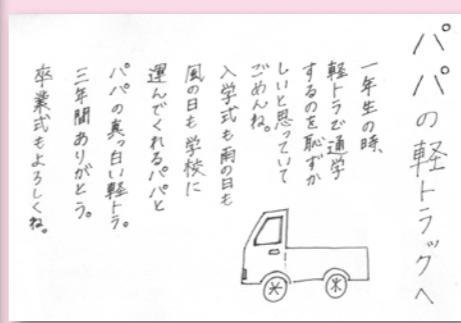
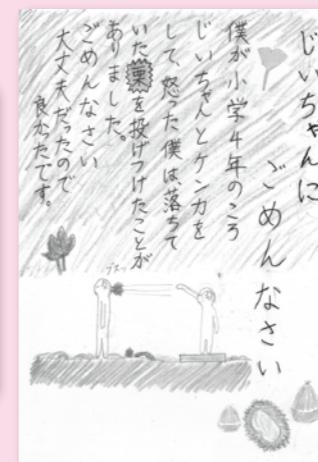
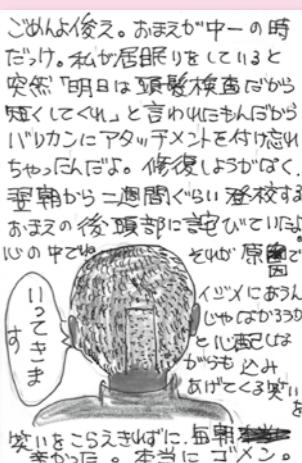
12回目の開催となつた今回は、応募総数、応募地域とも前回を上回り、全国的に取り組みに賛同いただくことができました。

今回も秀作が多く寄せられ、審査員が頭を悩ませな

がらの審査となりました。今回の大賞は過去最高齢となる98才の方の作品で、敗戦直後の復員列車での体験をつづつたもので、戦後の冷めきつた世情の中での心温まるエピソードとして、審査員も納得の大賞となりました。

貴女方の心温まる親切気と一時的ですが疑つてしまつた私です。本当に申し訳なく心から深くお詫び申上げます。昭和二十二年春、長崎県佐世保から復員列車で新潟駅を目指して出発。途中大阪駅に長時間の停車。各人に支給された白米を集めて炊いてくれるとの事。「持ち逃げ?」と疑つた私。前に約一時間後に湯気の立つ銀倉利浜が出来ました。今井包和 御恩忘れません。

大賞(南国市市長賞) 今井 包和（新潟県）

優秀賞(南国市副市長賞)
岡林 侑（高知市）優秀賞(南国市副市長賞)
森岡 星（香南市）優秀賞(南国市教育長賞)
山崎 薫（高知市）優秀賞(南国市教育長賞)
興梠 亮（宮崎県）優秀賞(南国市教育長賞)
平松 みち子（愛知県）優秀賞(南国市教育長賞)
小川 珠奈（鹿児島県）

応募総数
1,083通

今年で12回目となつた「ハガキでごめんなさい全国コンクール」。今年は本県を含む43都道府県と幅広い地域から、昨年より179通多い1083通の心温まる「ごめんなさい」が寄せられました。応募作品の中から、審査で選ばれた各賞の作品を紹介します。

言ひそびれたごめんなさいを1枚のハガキに